

第 147 回 サイエンス・カフェ札幌

**「たとえ、あなたが人でなくても。
～AI から始まる新しい倫理と配慮～」を開催**

【概要】

あまりに「人間らしい」回答をしてくる AI に、つい「ありがとう」「ごめんね」と返してしまう。最初はただの便利な道具だったはずなのに、いつの間にか相手を気遣う言葉を投げかけている。そんなとき私たちは、AI を単なる道具ではなく、隣にいる「誰か」のように受け止めているのかもしれない。近年では、AI を親友と呼んだり、伴侶として人生を共に歩もうとする人も現れています。

一方で、人間でないものを人間と同じように扱うのはおかしいという考え方もあるでしょう。このような「擬人化」は、私たちが他者とどう関わるべきかを問う倫理学においても争点となってきました。AI に人間らしさを投影し、人間同士と同じような親密な関係を築けると勘違いしているのではないかと警戒されてきたのです。

しかし、私たちは自然にペットに話しかけたり、古いぬいぐるみをゴミ箱に捨てるのをためらったり、ロボットと人間が心を通わせる物語に感動したりします。人間でない相手に対して、応答し、気を遣い、心を動かされる。それは、私たちがその人間でないものとの間に何らかの関係性を見いだしているからではないでしょうか。

AI という、人間ではないけれどただのモノとも言い切れない存在が現れた今、他者とのよい関係とは何かを問い直す時が来たのかもしれない。このサイエンスカフェでは、これから私たちは AI とどのような関係を結んでいくのか、私たちにとって AI はどんな存在になっていくのか、考えます。

AI をめぐる倫理学を研究する北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター（CHAIN）の清水 颯特任助教をガイドに、「関係性」を軸にした新しい倫理学の潮流を手がかりとしながら、これからの人間と AI のあり方について一緒に考えてみませんか。

【タイトル】 たとえ、あなたが人でなくても。～AI から始まる新しい倫理と配慮～

【日 程】 2026 年 8 月 8 日（土）14:00～15:30（開場：13:30）

【場 所】 紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン
（北海道札幌市中央区北 5 条西 5-7 sapporo55 1F）

【主 催】 北海道大学教育イノベーション機構科学技術コミュニケーションユニット（CoSTEP）

【対 象】 一般市民

【募集人数】 50 人

【ゲ ス ト】 清水 颯（北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター（CHAIN）特任助教）

【聞 き 手】 平川全機（北海道大学 CoSTEP 特任助教）

【参 加 費】 無料

【申込方法】 不要（直接会場へお越しください）

お問い合わせ先

北海道大学教育イノベーション機構科学技術コミュニケーションユニット（CoSTEP）

担当：奥本素子（おくもともところ）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール hirakawa@eis.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/37159>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

第147回 サイエンス・カフェ札幌

たとえば、

あなたが

人でなくても。

AI から始まる新しい倫理と配慮

話し手

清水 颯 さん

北海道大学 人間知・脳・AI 研究教育センター 特任助教

聴き手

平川 全機

北海道大学 CoSTEP 特任助教

会 場

紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン

主 催

北海道大学 CoSTEP

sat.

2026

8. 8

14:00-15:30 開場 13:30

申込不要

参加無料



第147回 サイエンス・カフェ札幌

たとえ、あなたが人でなくても。 AIから始まる新しい倫理と配慮

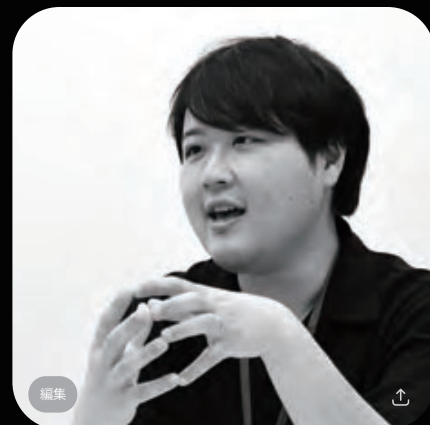
あまりに「人間らしい」回答をしてくるAIに、つい「ありがとう」「ごめんね」と返してしまう。最初はただの便利な道具だったはずなのに、いつの間にか相手を気遣う言葉を投げかけている。そんなとき私たちは、AIを単なる道具ではなく、隣にいる「誰か」のように受け止めているのかもしれませんが。近年では、AIを親友と呼んだり、伴侶として人生を共に歩もうとする人も現れています。

一方で、人間でないものを人間と同じように扱うのはおかしいという考え方もあるでしょう。このような「擬人化」は、私たちが他者とどう関わるべきかを問う倫理学においても争点となってきました。AIに人間らしさを投影し、人間同士と同じような親密な関係を築けると勘違いしているのではないかと警戒されてきたのです。

しかし、私たちは自然にペットに話しかけたり、古いぬいぐるみをゴミ箱に捨てるのをためらったり、ロボットと人間が心を通わせる物語に感動したりします。人間でない相手に対して、応答し、気を遣い、心を動かされる。それは、私たちがその人間でないものとの間に何らかの関係性を見いだしているからではないでしょうか。

AIという、人間ではないけれどただのモノとも言い切れない存在が現れた今、他者とのよい関係とは何かを問い直す時が来たのかもしれませんが。このサイエンスカフェでは、これから私たちはAIとどのような関係を結んでいくのか、私たちにとってAIはどんな存在になっていくのか、考えます。

AIをめぐる倫理学を研究する北海道大学の清水颯さんをガイドに、「関係性」を軸にした新しい倫理学の潮流を手がかりとしながら、これからの人間とAIのあり方について一緒に考えてみませんか。



しみず はやて
清水 颯 さん

北海道大学
人間知・脳・AI研究教育センター (CHAIN)
特任助教

1998年北海道生まれ。哲学・倫理学を専門とし、カント倫理学やAI倫理、特に人間と技術の関係を研究している。最近では、人と人、さらには人間以外の存在との関係のなかで立ち現れる倫理に注目する「関係論的転回」に関心を寄せ、欧米圏の研究者たちとの共同研究や国際的な対話に力を入れている。著書に『AIに恋しちゃダメですか？—AIと生きるための倫理と哲学—』（技術評論社、2026年）。

📄 📌 🔄 ...

CoSTEP は、科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育研究組織です。

+ 次回のイベントおしえて



次 回

第148回 サイエンス・カフェ札幌

開催日 2026年 9月下旬～10月初旬

会 場 未定（札幌市内）

ゲスト 高橋 泰城 さん / 北海道大学 文学研究院 教授

K e y 不合理・意思決定・選択・認知バイアス

主 催

北海道大学 教育イノベーション機構 教育開発センター
科学技術コミュニケーションユニット (CoSTEP)

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目 総合教育棟 N163A

e-mail costep_office@ml.hokudai.ac.jp

phone・fax 011-706-5320

https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp